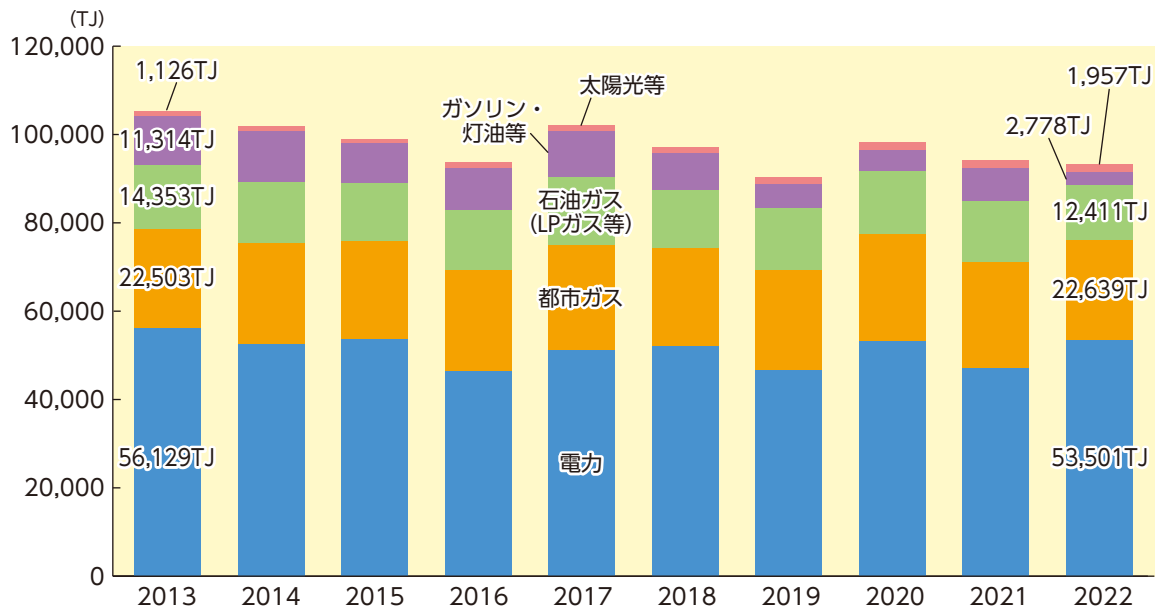


9 電気・ガス・上下水道

① 家庭におけるエネルギー源別消費量の推移



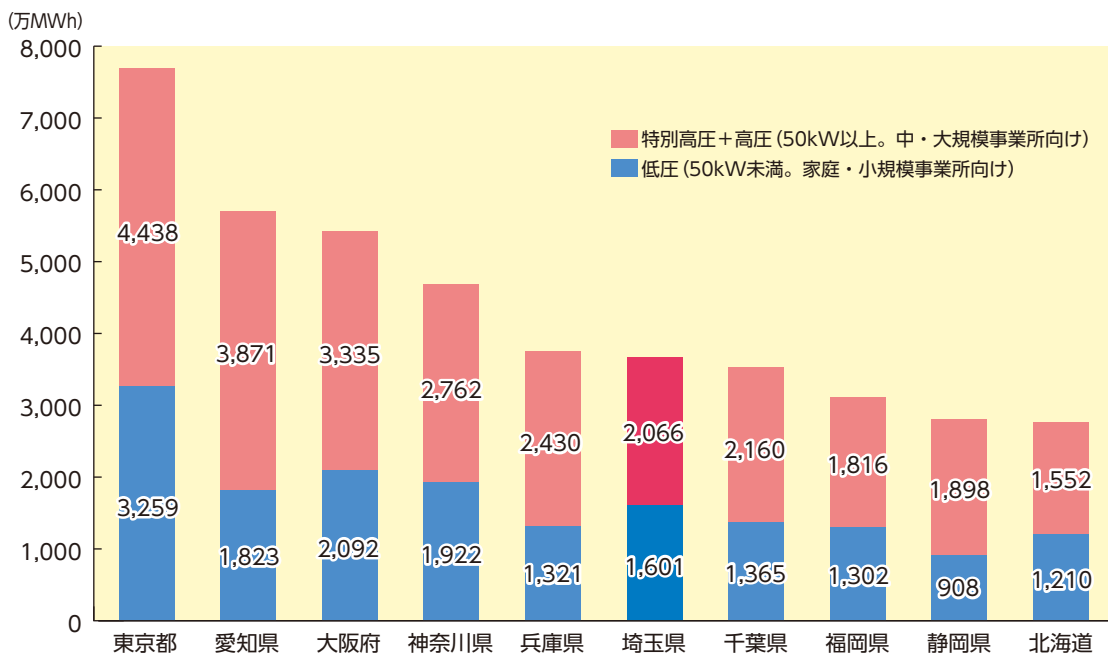
家庭におけるエネルギー消費量はやや減少傾向にあります。

2022年度における家庭におけるエネルギー源の57.4%を電気が占めています。

注) TJはテラ・ジュールの略号。発熱量を表す国際的な単位ジュール(J)の1兆倍。

資料：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」

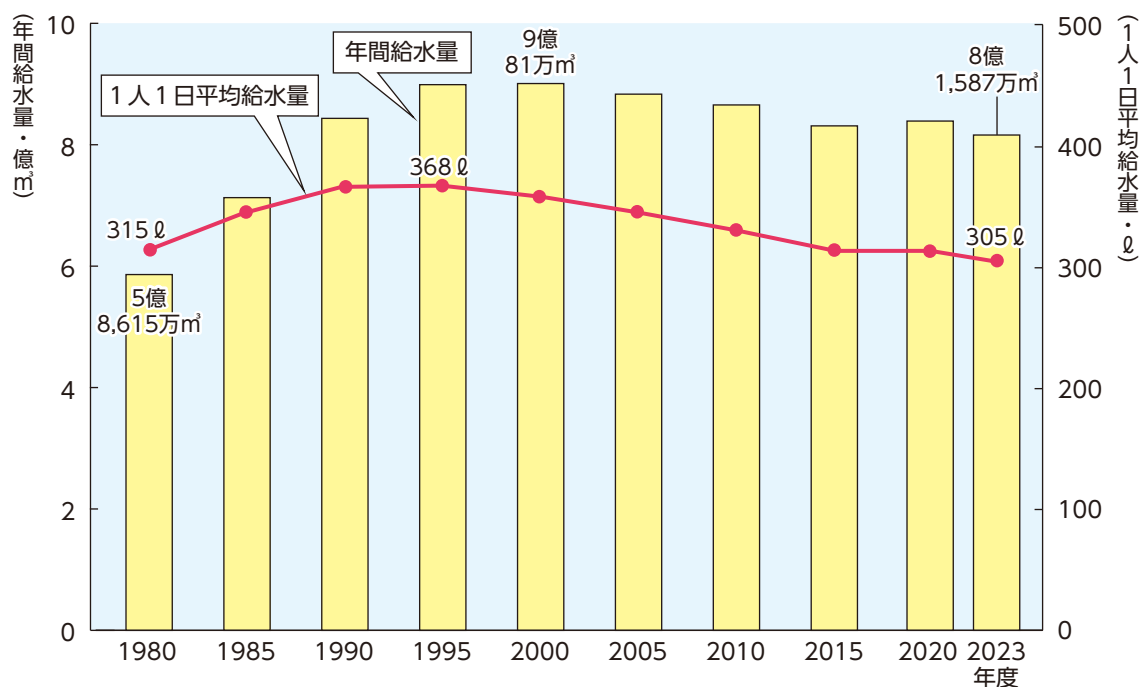
② 電力使用量(使用量の多い上位10都道府県・2024年度)



Wh(ワット時)は、電気の使用量(電力量)の単位です。
 電力(電気が仕事をする力)と使った時間の積で表します。
 電力量(Wh)=電力(W)×時間(h)
 ※1Whの100万倍が1MWh(メガワット時)です。

資料：資源エネルギー庁「電力調査統計」

③ 上水道の年間給水量と1人1日平均給水量の推移

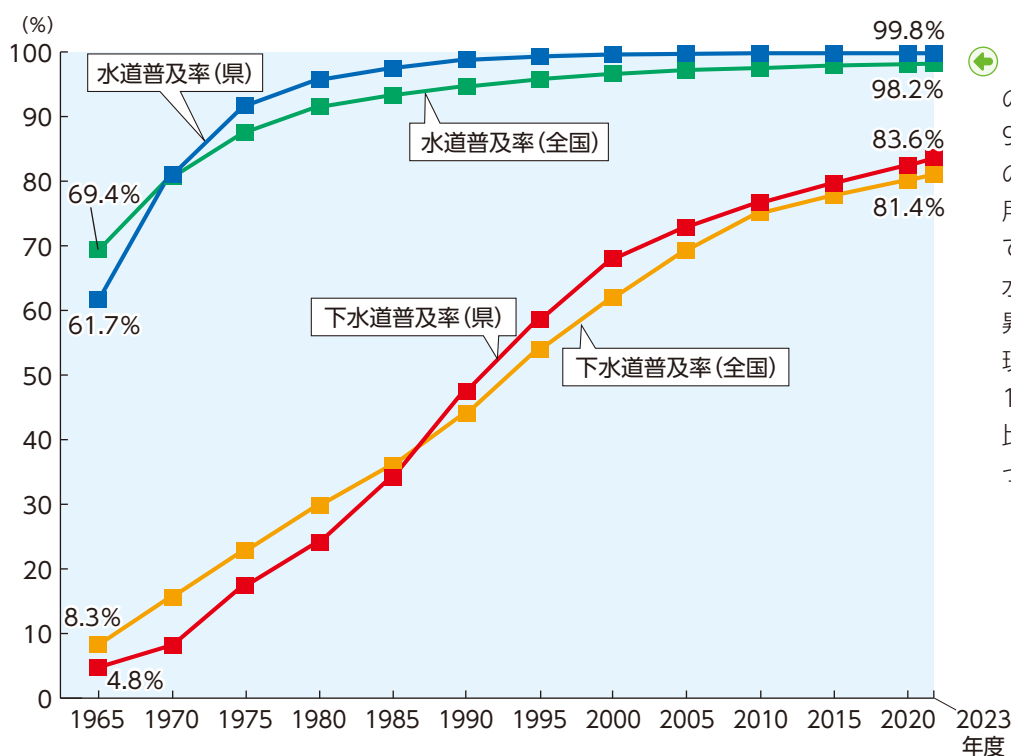


注)1 上水道とは、計画給水人口5,001人以上の水道をいう。
2 給水人口は各年度末現在。

$$3 \text{ 1人1日平均給水量} = \frac{\text{実績年間給水量}}{\text{年間日数} \times \text{現在給水人口}}$$

資料：県生活衛生課「埼玉県の水道」

④ 水道と下水道の普及率の推移 (各年度末現在)



➡ 2023年度末現在の水道普及率は99.8%で、ほとんどの県民が水道水を利用できるようになっています。また、下水道普及率も年々上昇し、2023年度末現在は83.6%で、1965年度(4.8%)と比べると17.4倍になっています。

注) 下水道普及率(全国)は参考値

資料：厚生労働省「水道の基本統計」、国土交通省「令和5年度末の污水处理人口普及状況について」
県下水道管理課「埼玉の下水道2024(2023年度)」
埼玉県の水道 令和6年度版(令和5年度水道統計調査資料)